毎日のお仕事、組合活動ご苦労さまです
組合費・国保料などは
毎月群会議で納入
2ヵ月めを遅れる方は「資格継続願い」を提出して下さい

けんせつ北部
（購読料は組合費の中に含まれています。）
定価30円

発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋5―22―15
※板橋〈3963〉5325
電話　練馬〈3825〉5522
北〈5390〉6021
豊島〈3986〉2471
発行人　代表者　川合　正人
発行日　1日、9日、17日、25日

板橋支部活動者会議

新しい仲間の輪を広げよう

9月4日、板橋支部秋の活動者会議を志村コミュニティセンターで開催しました。森井じゅん（公認会計士・税理士・米国ワシントン州公認会計士）さんの講演、拡大月間の取り組み方針、基調報告、分会経験報告、分散会などが行われ、支部役員・分会から104人が参加しました。

参加者で「団結がんばろう」を行いました

拡大運動の協力者を増やして

山本委員長が「秋の拡大月間を成功させよう」とあいさつしました。東京土建本部から来賓として石川副委員長、土橋常任中執、吉川専従常任中執が参加。代表して石川副委員長があいさつを行い、「拡大運動の協力者を増やすことにも取り組もう」と訴えました。

森井じゅんさんが消費税問題を講演

「消費税自体を廃止に～インボイス制度以前の大問題～」と題して森井じゅん（公認会計士・税理士・米国ワシントン州公認会計士）さんが講演しました。

講師の森井じゅんさん

はじめに森井さんは「インボイス制度について深く知るというよりも、インボイス制度の元である消費税、これがどれだけおかしいかということを皆さんに知っていただきたい」と語り、図表を使い、消費税の問題点などを解説しました。

「消費税というと身近なようで遠いという方が多いと思いますが、消費税は今まで言われてきた、信じ込まされてきたものとは少し違うのだという視点」が必要だと強調しました（講演内容は10月号に掲載します）。

仲間に手を差し伸べる総訪問行動

穴澤書記次長・組織部長が秋の拡大月間の取り組みの方針を提案しました。コロナ禍で多くの仲間が仕事・暮らしに影響が出ています。組合員訪問行動を位置づけ、困っている仲間に手を差し伸べ、組織戦を本格化し「全群参加で多くの仲間を集めて行動し、新しい仲間の輪を広げよう！」（支部スローガン）と提案。

訪問グッズ・「メリット袋」を活用し、総訪問行動をすすめ、仲間の状況を聞き取り、改めて組合のメリットを説明し、利用をすすめること。知人友人などまわりに組合未加入者はいないか聞き取りをすすめ、全分会目標達成めざして拡大運動を成功させようと訴えました。

世話焼き活動で群会議の充実を

小林書記長が基調報告を行いました。コロナ禍のもとでの組合の役割と事業復活支援金の相談活動などを報告。また板橋区との交渉と会派懇談、首都圏アスベスト訴訟の経過を報告しました。

組織の基本となる群会議について、①「群会議に参加してね」、②「何か困っていることはない？」、③「組合の取り組みに参加・協力してね」と声をかけ、「世話焼き活動」をすすめ充実した群会議にしようと訴えました。

氷川・新赤塚分会から活動報告

氷川分会「納入率向上の手立て・工夫」について、新赤塚分会「拡大訪問行動のとりくみ」について分会活動報告をしました。

その後、6つのグループにわかれ分散会を行い、講演や拡大月間の取り組みの方針、分会活動報告などについて感想や意見を交流しました。

9月25日に行われるスポーツイベント「どけんラリー」と火災共済推進運動の取り組みについて追川厚生文化部長・実行委員長が訴え、どけんラリーお誘いの協力を呼びかけました。次いで広島で行われた原水爆禁止世界大会へ参加した2人の代表が参加報告を行いました（2面参照）。

討論のまとめを竹腰書記次長が行い、野崎副委員長の音頭で拡大月間成功・組織強化へ「団結がんばろう」で意志統一し、閉会しました。

活動者会議で報告する小林書記長

2022年秋拡大スローガン

分会	拡大スローガン	目標
大　山	目標達成までガンバる	10
仲　宿	拡大行動は一喜一憂よ 助け合って達成しよう！	4
大谷口	脱退のない拡大行動頑張ろう！	8
大谷口北	拡大は足出せ顔出せセンターへ！	10
中　央	あと8人。泣きを入れずにガンバロー！	8
氷　川	秋の陣 笑顔で訪問	8
若　木	皆で拡大達成ガンバロー！	6
志村坂上	新しい力を加えて目標達成！	9
前野中台	メリット含めた会話を増やし、地道な訪問行動を	11
坂　下	超過5人目指せ!!	4
蓮　根	200人分会を目指そう	8
舟渡高島	目指せ1群1人	6
徳　丸	600人分会を目指そう!!	17
新赤塚	全組合員との対話を実現しよう	9
上赤成増	めざせ270人分会!!	10
事業所	つながり強化で顔の見える事業所分会を!!	48
イキイキ会	600人のイキイキ会を目指そう	11
女性の会	楽しい企画で仲間を増やそう	26
青年部	コロナに負けず、分会青年部長選出目指そう	9

とんかち談義

値上げラッシュが止まりません。食品だけで約6500品目が10月の値上げを予定▼大手4社のビールや缶酎ハイなども値上げ。ビール類の店頭価格は10％前後引き上げられます。加熱式たばこも値上げです。大手外食チェーンも値上げ。マクドナルドは3月に続き2回目の値上げとなりハンバーガーは110円→130円→150円へ▼一方、下がり続けているのが岸田内閣の支持率。報道各社の9月の世論調査で内閣支持率が急落しました。主要メディアのほとんどで、不支持率が上回っています。共同通信の調査では内閣支持率は40・2％と8月比13・9ポイント減▼憲法違反の安倍元首相の国葬、反社会的カルト集団・統一教会と自民党との癒着、物価高騰への無策などに対する国民の不信と怒りの表れです。物価高への対応を「評価しない」も70・5％に上ります▼7月の参院選で有権者の関心が最も高かったのは物価高対策でした。食品や生活必需品の値上げが相次いで家計を圧迫しています。国民の切実な声を受け止め、物価対策を行うことが求められます。

原水爆禁止2022年世界大会
核兵器の禁止・廃絶しかない

被爆77周年を迎えた広島で8月4～6日、原水爆禁止2022年世界大会が行われました。新型コロナの影響で3年ぶりとなった開催に、若者や家族連れの姿も目立ちました。大会では主催者報告でウクライナ危機に乗じた核使用や抑止力論を批判し、「人類が惨禍から免れる唯一の保証は核兵器の禁止・廃絶しかない」としました。板橋支部からは追川副委員長と石田書記の2人が参加しました。報告を紹介します。

核兵器の恐ろしさを

副委員長　追川　春夫

8月4日～6日の3日間、原水爆禁止世界大会に初めて広島に行って参りました。コロナ禍の影響で3年ぶりの大会参加者は、板橋原水協から13名、東京土建板橋支部からは2名の参加でした。

初日は東京駅から新幹線で広島駅へ、到着後すぐ市電に乗り換え原爆ドーム前へ移動して大会会場のグリーンアリーナで開催総会と国際会議に参加しました。国際会議では日本の被爆者や韓国の被爆者から話を聞きました。

2日目の午前は板橋区議の岩井桐子さんの説明を聞きながら、数々の遺跡、碑めぐり57か所ある内、雨が降り出したため13か所ほどめぐりました。午後は再びアリーナでテーマ別集会に参加し、ロシアとウクライナの平和活動家たちが考えていることや、行っている取り組みについての報告がありました。ロシアのウクライナ侵攻に対し、軍事対軍事ではない国連憲章と国際法に基づく解決を求める内外の取り組みを学びました。そして、夕方から平和記念資料館を見学しました。様々な資料や写真、それに加え遺品も展示されており、原爆がもたらす当時の悲惨な状況を感じ取ることができました。改めて核兵器の恐ろしさ、戦争の愚かさを、「見ると聞く」とでは大違いだと実感しました。

3日目は板橋原水協のメンバーから平和記念式典の会場には入れないと聞き、やむなくホテルのテレビを見ながら原爆投下の8時15分に黙祷をしました。10時半からアリーナでヒロシマデー集会に参加、国内・海外から様々なメッセージが寄せられていました。集会の最後に広島宣言を採択して、原水爆禁止世界大会が終了しました。

世界で唯一の戦争被爆国の日本が核兵器禁止条約に参加しないのは、どう考えてもおかしいと思います。日本政府に対して「核兵器禁止条約に署名・批准を求める署名」を呼びかけ、草の根から共同の行動を前進させましょう。最後に私の大会参加に関わった、全ての皆様に感謝を申し上げます。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

板橋支部から２人が参加、広島で行われた原水爆禁止世界大会

世界に伝えていく

書記　石田　柊真

今回、初めて原水禁世界大会に参加させて頂きました。私は人生で一度も広島には行ったことがなく、戦争・原爆についても学生時代の教科書で学んだ知識しかありませんでした。2022年原水爆禁止世界大会（広島）に参加して改めて戦争について学び、考えるいい機会となりました。

初日は、原水爆禁止世界大会開会総会に参加し、実際に被爆した方の当時から今現在に至る話を聞き、原爆投下は77年前の事ではありますが、今現在もその爪痕を広島の人々に残し、決して過去の話で終わらせてはいけないことだと強く感じました。

二日目の午前中に行った碑めぐりでは、原爆ドーム・平和記念公園・相生橋・本川小学校平和資料館に行きました。平和公園の中には様々な慰霊碑がたてられており、ガイドの方から詳しい話を聞くことができました。

原爆ドームの周辺にはたくさんの人が原爆ドームを眺め、中にはテレビの取材を受けながら涙を流しているご年配の方もいました。私も原爆ドームを目にした時には、悲しみか、怒りか、胸の奥に何とも言えない感情が湧きました。

本川小学校平和資料館では、原爆投下により破壊され残った一部を資料館として開放しており、原爆による建物への被害、幼い児童たちが一瞬にして無残にも亡くなったことを知りました。未来ある幼い児童の命を奪ったことも許せないことですが、原爆投下は、広島で普通に生活をしていた人を使った「人体実験」であったことを知ると怒りが込み上げてきます。この事実は多くの人たちへ伝えていかなければならないと思いました。

最後に、東京土建に入っていなければこのような機会を頂くことはなかったと思います。戦争・原爆というものがどれ程残酷で悲惨なものなのかを知る貴重な経験をさせていただきました。昨今、日本の情勢では戦争のできる国へ向かっていると感じます。世界ではロシアによるウクライナへの侵攻が続いています。私は声を大にして戦争反対と言いたいです。悲しみや恨みしか生まれない争いは、なくさなければいけないと強く感じています。私を含め、今の10代・20代の人が被爆者から直接話を聞ける最後の世代ともいわれています。これから先の未来へ、唯一の戦争被爆国として世界に伝えていかなければいけない事があると思いました。来年は長崎で行われるということですが、参加する機会があればぜひ参加できればと考えています。

労働学校で学習

労働組合としての自覚を

8月21日、労働学校の第1講、2講を板橋支部会館で行いました。15人の受講者は憲法問題と労働運動の課題などを学びました。

憲法と法律の違い、憲法の目的を説明

第1講は「憲法と建設労働運動」、講師は弁護士の林治さん。大学工学部卒業後、オートバイの仕事に就職、退職後、司法試験を受験し、弁護士となった経歴を持ちます。

まずは、憲法と法律の違い、憲法の目的を説明。第一に冷静な時に多数意見や時の権力者によっても奪えない権利や自由を守る手立てをしておくためのもの、なぜなら人間は誤りを犯すし、多数意見が必ずしも、正しいとは限らないから。

第二に憲法により権力行使に歯止めをかけるという考え方。つまり、法律は国家権力が国民を縛るものだが、憲法とは国民が国家権力を縛るもの、個人の権利や自由を守るもので、憲法が人権規定ばかりなのは、国民の権利と自由を保障するため。

憲法を守る義務を負っているのは、国家権力であり、国民ではないと言う事です。憲法に認められた、さまざまな自由権、社会権、生存権、勤労権、労働基本権などの説明がありました。

第１講の講師の林治弁護士

ただ、私が一番興味を惹かれたのは、司法試験に合格した人が、どの様に、裁判官、検事、弁護士と振り分けられるかと言う事でした。

司法試験に合格して、単純に本人の希望通りに、裁判官、検事、弁護士となるのではなく、司法研修所の教官から選ばれる形で裁判官、検事になる、つまり同じような考え方、価値観の人が集まると言う事でした。

コロナで浮かび上がった新自由主義の問題

第2講は、新自由主義と闘う「世界と日本の労働運動」その到達と課題、講師は江口健志さん（東京労働者学習協会）。

コロナ問題で浮かび上がった、新自由主義の問題、医療崩壊、病院、病床の削減、保健所の半減、コロナ禍での雇用不安、経営危機、短時間非正規労働者の増加など、自己責任型社会の問題点を指摘。

新自由主義によって、上がらない賃金、リストラ、労働組合の抑圧、大企業の負担軽減、大企業の内部留保の増加、低所得者層の増加、その中での日本の労働運動の現状などの説明の後、東京土建の地域に根差し、土建国保を軸とした組合員拡大は他の組合組織の追従を許さないものとの事。労働組合としての自覚を持ち、活動することが基本であるとの事でした。

第1講、第2講、共に短い時間の中で、出来るだけ多くの事を講義したいと言う気持ちはわかりますが、たとえ、質、量が少なくとも、出来るだけわかりやすく、簡潔にしていただけると、もっと身についたと思いました。

【舟渡高島分会　内田恒夫】

熟年のつどい
健康促進の簡単体操

9月6日、板橋区立文化会館大会議室で「熟年のつどい」を開きました。

「ひとりじゃんけん」をする参加者

高齢組合員の健康増進と健診受診率向上を目的に開催。参加者は76人、皆さん東京土建の活動に従事されたベテランの方々です。

山本委員長の主催者あいさつ、嵐田イキイキ会会長のあいさつの後、須賀副委員長から支部役員・書記局のメンバーの紹介が行われました。

今年は高齢者にもできる簡単な健康促進の体操教室を行いました。講師は石川正士（新日本スポーツ連盟神奈川県連盟）さん。

参加者は石川さんの指導のもと、手や首などを動かして体操。ひとりじゃんけんや、じゃんけんゲームを楽しみ、「脳トレーニング」をしました。

質疑応答のあと、藤代副委員長・社会保障対策部長が閉会あいさつ。「団結がんばろう」を行い、閉会となりました。参加者はお弁当のお土産を手に、家路につきました。

◇　◇

良い脳トレに

石川先生の指導で高齢者向きの簡単な体操をしました。指先から足首まで動かしたりしましたが、「痛い痛い」とあっちこっちで悲鳴が聞こえてきました。私が難しかったのは自分の両手でのジャンケンでした。片方が負けるように意識して早くやるのは結構間違えます。良い運動、良い脳トレになりました。

【大谷口分会　岩井小夜子】

シニア友の会

20周年を祝う
金平茂紀さんの講演と前進座の余興で

早いもので東京土建シニア友の会も結成20周年。〝成人式〟を迎え、「結成20周年を記念するつどい」が8月23日、日本教育会館一ツ橋ホールで行われました。全体で217人、板橋支部から11人参加しました。

前進座のみなさん

記念講演は「TBS報道特集」でキャスターの金平茂紀さん。「分岐点としての2022年」と題して写真を見ながら50年前の日本を振り返り、安部元首相銃撃・殺害事件やウクライナ侵攻のあった今年は歴史の切断点、前と後ろで社会が変わる、政治とカルト教団の癒着、これも「戦場」、しっかりした目で社会を見ていこうとのこと。

講師の金平茂紀さん

その後、基調報告などがあり、前進座の余興を楽しみ、集いは終了。

シニア友の会・イキイキ会は「いつでも元気で楽しく交流・ジーさんの持力、バーさんの馬力」を合言葉に活動を続けて行きます。

【イキイキ会副会長　島田多鶴子】

支部会館 修繕工事入札業者の募集

次の5つの工事を一括工事として入札を行います

①塗装工事（外気に接する鉄部）
②バルコニー等の防水工事
③下地の補修工事
④打ち目地・シーリング工事
⑤洗浄工事

条件…①請け負う業者は組合員であること
②下請け業者についても組合員であること

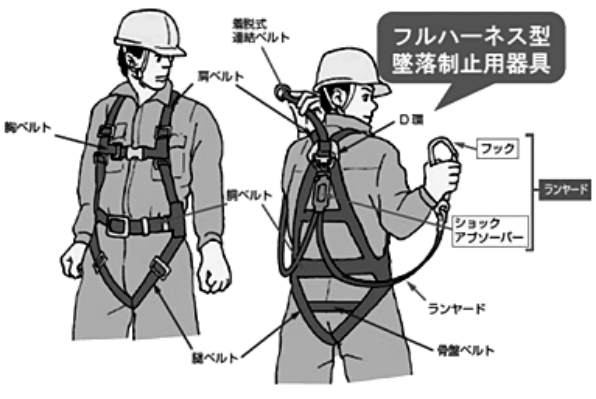
募集…希望する業者は10月末までに支部にご連絡ください

石綿特別教育を開催します

東京土建板橋支部では、仲間の要望に応えて「石綿特別教育」を板橋支部会館で開催します。お申し込みはお早めにお願いします。

【日　　時】11月20日（日）午後１時～午後６時
【場　　所】板橋支部会館
【受講資格】18歳以上の東京土建の組合員
【受 講 料】4,500円
最終締め切りは11月４日（金）
申し込み・問い合わせは☎03―3963―5325

フルハーネス特別教育
板橋支部会館で開催
この機会に受講しましょう



墜落および転落による災害防止をより促進するために、一定の作業においてはフルハーネス型墜落制止用器具を使用しなければならなくなりました。あわせて特別教育の受講も義務付けられました。

仲間の要望に応えて板橋支部会館でフルハーネス特別教育を開催します。この機会に受講しましょう。

【日　　時】10月23日（日）午前９時～午後４時30分
【場　　所】板橋支部会館
【受講資格】18歳以上の東京土建組合員
【受 講 料】8,000円
締め切りは10月５日（水）
お申し込み・問い合わせは☎03―3963―5325

組合で購入あっせんもしています

講習とは別に、組合でフルハーネス購入あっせんを組合員価格で行っています。

LINE友達登録キャンペーン　実施中

賞　　品	ご当地カレー2食分　10名 クオカード500円分　10名
応募期間	2022年10月31日（月）まで

東京土建板橋支部　LINE公式アカウント　登録方法

①「LINE」を開き、左下の「ホーム」を選択
②右上の「友達追加」を選択
③「QRコード」を選択
④カメラで表面の「QRコード」を読み取る
⑤「追加」を選択して友達登録完了！
⑥LINEのトーク画面に必要事項（氏名、フリガナ、ご連絡先）を送信でキャンペーン（下記詳細）への応募が完了！

東京土建では組合員に役立つ多くの制度があり、時期に応じて様々な催しや組合員のための活動を行っております。定期的に役立つ情報を発信していきます。

企業従事者会議
ゼネコン・住宅企業などの現場の声を

10月2日（日）午後2時から支部会館で従事者会議を行います。

ゼネコン・住宅企業・パワービルダーの下請けで働く仲間の参加をお願いします。地場のゼネコンで働く仲間・公共工事の現場で働く仲間もぜひご参加ください。

おきたまだより

治水対策　田んぼダム

田んぼダムという言葉を聞いたことはあるでしょうか？

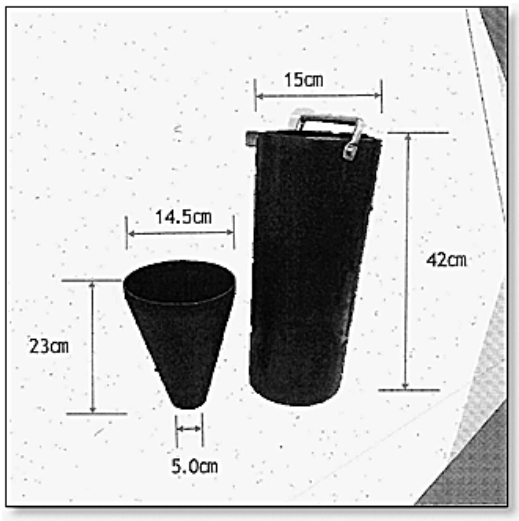
ここ近年、気候変動の影響によりゲリラ豪雨や線状降水帯が頻発し、大雨による川の氾濫や家屋の浸水などが増えてきています。

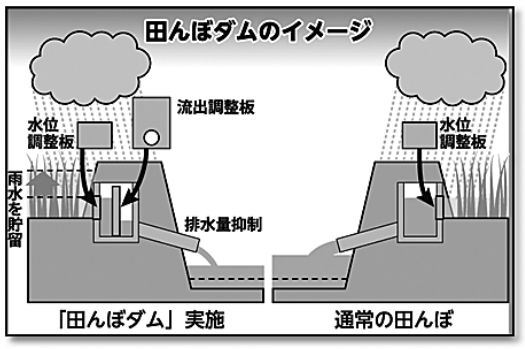
今までは、ダムや河川工事などの治水工事で水害を抑えてきたようですが、近年ではそれだけでは抑えきれないほどの雨が降るようになっています。

そこで、田んぼの貯水力を活かして雨水を一時的に田んぼに貯水し、雨水が一気に河川に流れ込まないようにする、というのが田んぼダムの考えのようです。

もともと田んぼは、水が貯めることができるようになっていますので、とても合理的だと思います。

方法としては、写真のような道具を使い、排水口の高さを高くし、ジョウゴのような物で排水口をつぼめる。そうすると排水量が抑制され、自然と田んぼに水が貯まる仕組みです。そんなに大きな工事をしなくてもできることも良いと思います。





日程表

2022年10月			
		組合活動	機関会議
1	土		
2	日	日曜行動	
3	月		中執
4	火		書記局会議…事務所閉まります　四役・常任
5	水		執行委員会
6	木		
7	金	訪問行動1日	発送
8	土		
9	日		
10	月		
11	火		
12	水		
13	木		
14	金		
15	土		
16	日	日曜行動	
17	月		書記局会議２時～　事務所閉まります
18	火		拡大推進委員会
19	水	納入日	
20	木		共済審査
21	金		
22	土		
23	日		
24	月	本部報告　訪問行動	
25	火		拡大分会長会議
26	水	訪問行動	
27	木		
28	金	訪問行動	

東京土建板橋支部　後継者対策部　主催

親子で行こう！楽しもう！

「市原ぞうの国」「東京ドイツ村」で BBQとみかん狩り・イルミネーション

日時：11月６日（日）
集合・出発：
　朝７時00分集合　高島平駅南口（７時30分発）
　朝７時00分集合　大山長寿医療センター（７時30分発）
参加資格：子育て中の組合員および同居の配偶者と子ども
会費（昼食代含む）：
　大人（高校生以上）5000円
　子ども（中学生以下）3000円
　＊３歳未満無料
　＊子どもには楽しいお菓子、ビンゴゲーム付です
締め切り：10月21日
　（10／22以降はキャンセル料がかかります）
※昼食での飲み物は飲み放題（アルコール・ノンアルコール）付きです

東京土建板橋支部　後継者対策部主催

ガチンコ・ゴーカート大会

板橋支部後継者対策部による新企画

車の運転ならお手の物、建設職人によるゴーカート大会

日時：2022年10月9日（日）
午後1時～4時まで
場所：F1リゾート秩父
締め切り：9月26日(月)

☆参加対象：49才以下の組合員
※お子さん連れのご参加は不可とします
☆参加費：1人　1000円
☆現地集合・現地解散で行います。※集合時間は12時45分です
住所：埼玉県秩父市久那637－2秩父ミューズパークスポーツの森内
☆参加者上位には豪華景品を差し上げます。
☆持ち物は運動しやすい服装とグローブ（なければ軍手をお貸しします）
お申し込みは、お問い合わせは東京土建板橋支部☎3963－5325

求人・求職コーナー

求人
○塗装工　社員等3人以上／㈱猪俣興業／猪俣吉城・中台分会☎080－5686－3875／経験不問
○建築施工管理技士・電気工事現場管理　社員等2人／㈱ハタ未来デザイン研究所／幡鎌秀一・前野中台分会☎080－5576－4473／有資格者
※求人・求職の掲載のお申し込みは支部事務所☎03－3963－5325まで。

日曜健康診断のご案内

2022年10月30日（日）
【申込締切】10月14日（金）
【実施場所】坂下診療所（定員50名）

2022年11月27日（日）
【申込締切】11月11日（金）
【実施場所】高島平診療所（定員60名）

女性健診のご案内　気になる女性ならではの病気。乳がん・子宮がん…この機会に受診しましょう
【日時】11月12日（土）　8：30～10：45
【場所】板橋支部会館
【内容】基本健診、乳がん検診（エコー）、子宮頸がん検診、大腸がん検診、腹部エコー　※オプションのみの受診はできません。

※日曜健診は午前のみの受付となります。午後はお申込みできませんのでご注意ください。
※オプション健診は有料です。申込時に費用を組合へ納入下さい。分会経由で納入する場合は群会議でお支払いください。

項目	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	基本健診	胃がん	胃がん	骨粗鬆症	じん肺	有機溶剤	大腸がん	前立腺がん
		（カメラ）平日のみ	（バリウム）			（キシレン・トルエン・エチルベンゼン選択）		
費用	無料	8,000円	3,000円	2,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円
		50歳以上の土建国保加入者3000円	50歳以上の土建国保加入者無料				40歳以上の土建国保加入者基本に含む	50歳以上の土建国保加入者は無料

※日曜健診は予約制です。必ず組合へお申し込みください。
問い合わせ先／東京土建板橋支部　TEL 03-3963-5325

家づくりの後継者、建築のスペシャリストを養成
東京建築カレッジ
東京土建が設立運営する学校
入学・就職相談受付中
●実習棟を中心に伝統技術を学ぶ ●構造設計、コンピューターCADも学習 ●登校日、毎週金・土の２年制
応募資格　18才以上、働きながら学ぶ意欲のある方
入学金　3万円
授業料　月額 31,000円（非組合員 48,000円）教科書・道具代 別途実費
雇用保険加入者は賃金助成制度適用あり
職業能力開発短期大学校　東京建築カレッジ
東京都豊島区池袋1－8－6 TEL 03-5950-1771